

同窓会事務局だより

諏訪清陵高校同窓会事務局は、現在学校の二室(正面玄関脇旧購買室)を借りて仕事をしております。この室には、同窓会書記の山崎千栄子さんが常勤で勤務。同級会・同窓会等々の行事・その他ご投稿を歓迎致しますので、とどしとどし校舎改築記念事業募金活動が緒につく六月からは、



編集後記

創立九十周年記念の会報11号を、会員の手元へ届けることができ、誠にありがとうございます。八十周年事業の一環として発行を始めた会報も5号からはその趣も変え10年間に11号を編み二六二頁の冊子となった。清陵八十周年に続く小史としての意義を帯び、同窓の皆さんの絆としての役割を占めるまでに成長してきた。編集に当たっては種々考へたが結局この程度のもので、紙面の都合で玉稿を縮めたり、没にした方には誠に申し訳なくご容赦の程を、又、広告掲載にご協力

訃報

昭和59年4月から昭和60年3月まで

謹しんで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

Table of obituaries with columns for Name (氏名), Number of issues (回), and Date of death (逝去月日). Includes names like 宮坂周兵衛, 原公夫, 春日邦男, etc.

清陵同窓会報

第11号

創立九十周年と校舎改築

記念事業スタートの年

会長 山田六一



今年で創立九十周年を迎えることになりました。十年前に突如として創立八十周年記念事業が盛大に実施されて以来、同窓会の運営は全く様変わりして、昨秋別々に実施する運びになって参りました。支

九十周年を祝して

校長 小田切光威



協力に対して、心より感謝申し上げますとともに、誠に四九回生の皆さんが、張りにご同慶の限りであります。切って取り組んでおりますので、よろしくご協力の程を、よろしくお願い申し上げます。賀会を、六十二年頃同時に

Announcement for the 90th Anniversary Memorial Meeting. Includes date (June 23, 1985), location (Mitsuda Cultural Center), and agenda items like financial reports and speeches.



も申し上げましたように、校舎の周辺整備、同窓会館の設立、清陵会基金、同窓会基金の増額等精力的に実施し、母校教育の一層の充実に協力すると共に、同窓会活動の基盤を更に強めて参りたいと考えております。

かように、見通しのむずかしい状況のもとにありますが、本校は本校なりに、九十一年の伝統から生まれた古き良きものを伝承し、その上に立って新しきものに、対応して参る所存でありま

さて、本校は校舎改築の意も含めて、九十周年記念式を催される由、お聞きし、まして、これまた有難く存

創立九十周年を迎えて

PTA会長 天野 丈久



びPTA各位また、学校関係者の皆様におかれましては、益々御健勝の事と御推察申し上げます。光陰は真に矢の如しでございます。九十周年の式典が取り行われ、世界は幾多の変遷を経

増え、今日の姿に発展して来た事と思われま。歴史が示す伝統、年輪が語る風

校舎を築立った校友は一万五、〇〇〇余人と聞き及んでおります。政界に財界に又医学、教育界、その他あらゆる分野に於いて、国内はもとより国際的に御活躍されている校友諸氏は枚

節目たる九十周年

学友会長 清水 幸長



創始九十周年、九十年といえは大変に長い歴史であり、その重みを感じる。しかし、一人一人の生徒が清

精密旋削と省力化をめざす
エグロの旋盤
精密小型旋盤 精密自動旋盤 精密小型NC旋盤

五取鉄工業株式会社
社長 江黒泰生 (58回)
営業部長 江黒照男 (65回)
管理部長 江黒照男 (65回)
本社工場: 岡谷市御倉町8-14
☎ (0266) 23-5511 (代)
営業所: 東京・大阪・名古屋・仙台

きた。確かに現在の清陵とはだいぶ異なり、三十一年で清陵も変わった。特にこの十年は著しく変化している。といった話を時々耳にする。しかも、その時その時代の清陵生を築き上げていく上での基

な面も出てきている。学友会としては校舎改築対策特別委員会を設け、改築工事と行事との調整などを行っているが、これによって一つの行事でもなくなるこ

昭和59年度 会務報告

- 4・4 昭和59年度入学式 入学者二七名(うち女子一〇七名) 山田会長祝詞。
- 4・7 岡谷支部総会 午後六時より、於ホテルお
- 4・12 下諏訪支部総会 午後六時三十分より、於銀
- 4・21 上伊那支部総会 ○部。(6・15発送) 昭和59年度定期総会、午
- 5・7 本部役員会(本会運営について、午後二時三十分より、於学校。
- 5・26 (財)清陵会理 元気象庁松代地震観測所長 諏訪 彰氏(38回生)午後一時三十分より、於学校。
- 6・11 同窓会報第10号 期総会進行打ち合わせ会、正午より、於仙岳。
- 6・15 発送) 昭和59年度定期総会、午
- 6・26 財団振講演会 「最近の地震、火山の話」 元気象庁松代地震観測所長 任幹事会提出議案審議、午後六時より、於仙岳。
- 7・1 本部役員会(定後一時三十分より、(校舎改築記念事業)、於学校。
- 8・24 常任幹事会、午後一時三十分より、(校舎改築記念事業)、於学校。
- 8・25 飯田長姫高校並びに育友会館(同窓会館)、
- 9・14 幹事会、午後一時三十分より、於学校。
- 10・26 名簿専門委員会 午後一時より、於学校。
- 10・27 湖周マラソン、OB二名参加。
- 11・8 名簿専門委員会 午後一時より、於学校。
- 11・15 諏訪清陵高校改築土地造成起工式、午前十一時より、於校庭、山田会長ほか出席。
- 11・17 清陵会記念講演

河西 勇事務所

司法書士
土地家屋調査士
社会保険労務士
訴訟市議員

諏訪清陵会(ボート部OB)会長 (55回)

河西 寿 恵 (83回)
河西 かおり (85回)

諏訪市湖岸通り4-8-7 (河西ビル)

☎ (0266)58-5315

諏訪清陵高等学校 校舎改築・校地拡張〈報告〉

五十九年三月末、念願の拡張予定地の買収が完了し、引き続いて造成工事の実施設計、建設業者も決まり、十一月には現地において、地権者を始め関係者多数出席のもと造成工事の起工式が盛大に挙行されました。造成工事は現在、全工程の七割近くが終わり、第二体育館、部室、更衣室等の取り壊しにより清水丘の学舎周辺の環境や、約四万立方m余にのぼる土砂の搬出により、校庭山側の地形はその様相を大きく変えつつあります。また、埋蔵文化財の緊急発掘が、大グツシヨ遺跡発掘調査団により

富士見支部総会、午後六時三十分より、於油屋、石井副会長ほか出席。
3・8 第37回卒業式、午前十時より、卒業生二六九名(うち女子七〇名)山田会長ほか出席。
校舎改築記念事業役員会(募金活動について)、午後六時より、於仙岳。

同窓会報特別会計中間報告 (S.59.5~S.59.11)	
収入額	1,761,861円
支出額	1,457,070円
差引残額	304,791円
記念事業特別会計中間報告 (S.59.12~S.60.5)	
収入額	2,001,642円
支出額	530,013円
差引残額	1,471,629円

古いのれんと
新しい設備

政府登録国際観光旅館
鷺の湯
諏訪観光ホテル

代表取締役 伊東克郎(第50回)

〒523 諏訪市湖岸通り三二二-一四
☎(0266)521-0480(代)

至誠・迅速
小松特許事務所
弁理士 小松清光

事務所 〒171 東京都豊島区西池袋2-39-8
ローズベイ池袋ビル8階C号室
TEL 984-3456 FAX 985-6760

自宅 〒354 埼玉県入間郡三芳町北永井871-5-3-408
TEL 0492-59-1952

上・下水道パイプ、バルブ資材一式

(有)米屋金物店

〒391 茅野市宮川 4430
☎(0266)72-2023

代表取締役 伊藤治夫(36回)

昭和59年度 同窓会決算書 昭和60年度 同窓会予算書

収入の部

科目	59年度決算額	60年度予算額
入金	960,000	945,000
記念事業会計上	2,495,976	0
流動資産取入	2,033,631	1,885,400
前年度繰越金	717,679	2,607,382
雑収入	735,685	250,000
合計	6,942,971	5,687,782

支出の部

科目	59年度決算額	60年度予算額
事務費	17,550	50,000
会議費	177,259	250,000
総会費	263,039	300,000
旅費	113,180	150,000
人件費	798,000	820,000
需要費	198,731	250,000
役務費	267,830	280,000
慶弔費	97,000	100,000
寄付金	250,000	250,000
記念品費	150,000	150,000
繰出金	1,750,000	1,500,000
雑費	23,000	30,000
予備費	230,000	1,557,782
合計	4,335,589	5,687,782

「日本経済の昨日・今日・明日」週刊東洋経済副編集長 小平 協氏(63回生) 親会、午後五時三十分より、11・19 名簿専門委員会、於成田屋。午後一時より、於学校。11・22 東京支部総会、告並びに雨水排水計画(校外)促進依頼のため山田会長ほか諏訪市長訪問。11・30 事務局会議(校舎改築記念事業原々案策定)、午後六時より於仙岳。12・8 常任幹事会、午後一時より、幹事会、午後三時より、於学校。12・27 (株)スワデーより、於仙岳。

1・19 常任幹事・幹事 タバコと契約。
12・24 県教委酒井教育合同会議、午後二時より、於学校(校舎改築記念事業実行委員会組織・事業・募金案決定)。
2・19 通学区内出身身議会議員並びに諏訪市長、企画課長と山田会長ほか校舎改築対策全般について懇談会、午後六時より、於成田屋。
2・23 諏訪支部総会、午後六時より、於湖泉荘、山田会長ほか出席。

新時代を飛ぶ

合理化促進の上で機械の選択は、重要なポイントです。国興工業は一流メーカー約120社の代理店権を特ち各専門分野での教育を受けた100名のセールスエンジニアが全県下を網羅し、あなたの会社の合理化促進に役立てております。

工作機械・工具・各種材料
電子機器等の総合商社
国興工業株式会社

■本社/諏訪市大字中洲4600 ☎(0266)52-6080
■営業所/諏訪・岡谷・上田・伊那・松本・長野・飯田・甲府・大宮・東京・佐久

飯島茂生(46回) 飯田節夫(58回)
篠崎知明(61回) 水野公策(67回)
金子順一(81回)

KOKKO KOGYO CO.,LTD. 37 飛翔

九十年のあゆみ

- 明28 諏訪郡立実科中学校として創立、校章は「稲と中」。
- 明30 清水町の丘陵に新校舎竣工、移転。「清陵」の名のおこり。
- 明32 初めて卒業生4名を出す。
- 明33 郡立諏訪中学校と改称。補修科を置く。
- 明34 県に移管し、長野県立諏訪中学校と改称。寄宿舎を新築。
- 明35 講堂新築。学友会誌創刊、校歌試作発表さる。同窓会創立。
- 明36 寄宿舎焼失。
- 明40 校章「梶の葉に中」制定。
- 大5 第一回諏訪湖横断遠泳、湖水一周マラソンを行う。
- 大6 補修科廃止。
- 大9 長野県諏訪中学校と改称。
- 大11 雨天体操場新築、科学生会誕生。
- 大12 武道場新築。



工事が進むA地区拡張地

用開始され、学校周辺の第一、第二テニスコートも、各課により、清陵高校雨水六月末には使用開始の予定で最後の整地が進められて、関係区長に対し説明会が開かれます。

会報十号でご報告した後の経過の概要についてお知らせいたします。

(経過報告)

6・15 雨水排水新設、残土処理、遺跡発掘依頼のため、県教委、会長、副会長、学校関係者諏訪市長訪問協力依頼する。

6・22 県土地開発公社造成地の残土処理方法について、諏訪市長訪問協力依頼して、諏訪市長訪問協力依頼する。

7・12 拡張地(A地区)の経過の概要についてお知らせいたします。

7・22 大ダツシヨ遺跡発掘調査団結団式が現地に於いて関係者多数出席のもと挙行される。

7・25 調査範囲は試掘調査結果から約二、五〇〇平方メートル、調査期間約三ヶ月、調査費一、七〇〇万円。

- 大13 寄宿舎焼失。二階建校舎新築。
- 大14 創立30周年祝賀式挙行。
- 大15 南沢に寄宿舎新築、野球部選手制廃止し一般化の方向へ進む。文芸会誕生。
- 昭2 同窓会創立30周年記念事業の記念館落成。
- 昭7 寄宿舎廃止。
- 昭9 本館二階焼失、校旗「梶と中」制定。
- 昭13 寄宿舎取り払い。
- 昭18 科学会停会。
- 昭23 新制高校に移行し、長野県諏訪清陵高等学校となる。併設中学校置かれ、校章「梶の葉」制定。清陵・深志交歓会は止まる。
- 昭24 同窓会会員名簿(昭和二十三年度)刊行。
- 昭25 学校放送設備完成。女子生徒入学する。
- 昭26 校舎改築第一期工事着工。
- 昭29 授業を全部新校舎にて実施。

造成工事実施設計作成にあたり、地質、地下水流調査のため、信大川上浩工学博士、中部測地研究所長他現地調査実施。

7・17 諏訪市長、企画課長他関係各課長と、造成工事全般にわたっての基本計画について報告並びに協議。

8・1 諏訪市企画課、建設課、県土地開発公社と清水町関係者と水路問題について協議。

8・2 拡張地造成工事入札にあたって現場説明が現地で行なわれる。

8・2 雨水排水計画に於いて、角間町区長と協議。

8・4 東神町区長、協議会長から再度校舎改築並びに校地造成に伴う要望書が提出される。

8・10 拡張地造成工事入札が、長野市自治会館に於いて一五企業体、三〇業者参加のもと実施される。

9・19 東神町区民総会において、第二回B地区造成工事について説明会開催。落札業者、大成建設(株)、諏訪土木建築(株)開始。

9・25 B地区造成工事共同企業体。落札額二億五、〇〇〇万円。

8・22 雨水排水計画について、諏訪市企画課、建設課と、小和田地区代表者との間で協議。

8・23 拡張地造成工事実施設計書原案作成。

8・23 角間町区長から雨水排水計画案について、変更陳情書提出される。

8・25 同窓会正副会長以下一六名、飯田長姫高等学校同窓会館視察。

9・7 現屋外運動場部分造成工事入札。

9・7 現屋外運動場部分造成工事入札。落札業者、大成建設(株)、諏訪土木建築(株)。

9・12 東神町区民総会において、B地区造成工事説明会開催。要望事項多数。諏訪市、県教委、県公社、業者、学校関係者出席。

9・19 東神町区民総会において、第二回B地区造成工事について説明会開催。落札業者、大成建設(株)、諏訪土木建築(株)開始。

9・25 B地区造成工事共同企業体。落札額二億五、〇〇〇万円。

開催。雨水排水計画案について説明協力方依頼(反対意見多数)。

9・27 造成工事現場事務所は旧庭球コートに開設。

9・27 B地区造成工事開始に伴い沿線家屋三〇戸について家屋調査実施。

10・3 拡張地境界未確定部分確定。

10・8 現運動場周辺の立木、フェンス並びに自転車置き場撤去。

10・20 造成地(A地区)の地下水観測開始。観測箇所三カ所。地すべり観測も併せて調査開始する。

10・20 造成工事開始に於いて周辺耕作者あて、農道つけ替え等協力について依頼文書発送。

10・22 造成工事全般について災害防止のための第一回協議会開催。

11・1 清水町区民総会において、A地区造成工事についての説明会開催。諏訪市、県土地開発公社、学校関係者出席。

11・5 拡張地(A地区)の地下地質構造が複雑なため、新たに四カ所について調査開始する。



完成近いB地区テニスコート

オプトメカトロニクスに挑戦する Sankyo



代表取締役社長 山田六一 (35回)
専務取締役 今井芳樹 (42回)

東京本社 〒105 東京都港区新橋1-17-2 ☎(03)502-3711
本社下諏訪工場 〒393 長野県諏訪郡下諏訪町5329番地 ☎(0266)27-3111

大阪・名古屋・飯田・駒ヶ根・伊那・甲府・静岡・ニュージャージー・ロスアンゼルス・デュッセルドルフ・ベルン・香港・シンガポール・クアラルンプール・台北・高雄

『坐禪のすすめ』

たまには山寺にてお坐りください。

毎月
第一・第二・第三日曜日
四月〜九月／朝五時より
十月〜三月／朝六時より

三光寺

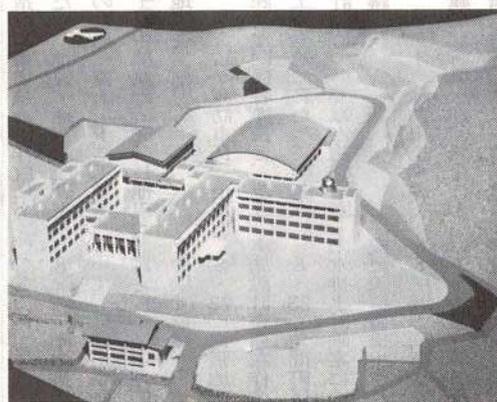
諏訪郡富士見町上葛木
住職 川窪純光 (48回)
(国道二〇号沿)
☎(0266)641-2001

地元の繁栄をはかるみなさまのしきん

諏訪信用金庫

会長理事 山岡利平 (28回)
理事長 宮坂久臣 (49回)
本店 長野県岡谷市幸町7番41号
TEL 岡谷(0266)23-4567

- 昭30 体育館竣工し改築完了。創立60周年記念式を挙げる。
- 昭31 記念館を校友会が改築し校友会館として使用。運動場均し工事着工。
- 昭34 天体観測ドーム新築校舎落成。ブロンズ「黎明の像」建立。
- 昭35 校友会館一部焼失。第三体育館落成。
- 昭38 財団法人長野県諏訪清陵高等学校理科教育振興基金の設立登記。
- 昭39 校庭拡張工事着工。理科教室へガス設置。
- 昭40 教室照明設備をする。創立70周年記念式典。三沢先生記念文庫落成開館式挙行。
- 昭43 同窓会会員名簿刊行。校友会館一部焼失し同会館撤去する。
- 昭49 家庭科教室新築。校門でさる。
- 昭50 創立80周年記念式挙行、記念事業企画。
- 昭51 創立80周年記念同窓



校舎完成模型

11・15 造成工事起工式。校舎改築記念事業が現地において挙行される。清陵会館仮地権者始め関係者八四名出席。三沢文庫充実(財)諏訪清陵会、同窓会基金の拡充、周辺整備の援助など造成工事開始。

11・29 故青木正博氏の事業計画が決められ、同窓会の同窓会実行委員会設置が協議された。

12・11 造成工事に伴い、用いたドイツ製の反射望遠鏡並びに、三沢勝衛先生に関する貴重な蔵書が寄贈されることになった。

12・5 拡張地(A地区)の地下地質構造、地下湧水汚濁調査の結果、当初の実設計の手直しが行われる。12・8 同窓会役員会について依頼。

1・19 同窓会役員会が開催され、校舎改築記念事業の実行委員会組織、各委員構成、募金についての方針等協議される。

2・15 清水町区長総代並びに各区分長に改築工事について説明協力依頼。

2・19 通学区内出身県議会議員と、対策委員会関係者との間で校舎改築についての懇談会開催。

2・26 県教育委員会、土地開発公社並びに請負業者間で雨水排水計画について協議。

4・11 校地外雨水排水路整備状況について諏訪市関係者と協議。

4・22 六十年度中及び六十年度以降の校舎改築計画について、県教委、県施設課、県土地開発公社と協議。

4・26 同窓会役員会において決定された校舎改築記念事業計画について、県教育委員会と協議。

(事務局長、北原邦英)

ご家庭に健康とくらしのリズムをつくる

ドラッグストアー

フジヤ薬局

代表取締役 牛山 充正 (51回)

■本社所在地 千392 長野県諏訪市諏訪2丁目1-5

本部：(千392) 長野県諏訪市諏訪二丁目1-5 電話 諏訪 (市外局番0266) 52-0588

下諏訪店：(千393) 長野県下諏訪町中央通り241 電話 岡谷 (市外局番0266) 28-4147

諏訪店：(千392) 長野県諏訪市諏訪二丁目1-5 電話 諏訪 (市外局番0266) 52-0315

岡谷店：(千394) 長野県岡谷市本町二丁目2-19 電話 岡谷 (市外局番0266) 23-8486; 2F研修センター

茅野店：(千391) 長野県茅野市塚原二丁目1-5 電話 茅野 (市外局番0266) 73-2971



大ダツシヨ遺跡(校庭拡張地)第9号住居跡の有孔銅付土器(縄文中期)から出土した珍しい横長の有孔銅付土器。(写真提供 南信日日新聞社)

- 昭52 格技室落成。
- 昭53 被服室新築。
- 昭54 プレハブ新校舎完成。P.T.Aで端艇2隻購入。
- 昭55 艇庫新築。
- 昭56 80年史刊行。
- 昭57 校舎全面改築調査費つく。
- 昭58 校舎建設予定地埋蔵文化財事前調査実施。
- 昭59 校地買収契約完了。

勝山写真店



明治28年制定 明治40年制定 昭和23年制定

校舎改築記念事業同窓会 実行委員会の設置について

去る十二月八日の同窓会幹事会において、校舎改築記念事業として六つの事業の実施と募金目標額が決議されましたが、併せてこれらの事業を達成するため、同窓会の専門委員会として、諏訪清陵高校校舎改築記念事業同窓会実行委員会の設置が了承されました。

続いて、本年一月十九日母校小講堂で開かれた同窓会常任幹事、幹事合同会議において、実行委員会の組織と人選について具体的な提案がなされ、別表のとおり承認されました。

総務委員会は、記念事業全体を総括し、事務局を構成し、施設委員会は、記念事業のうち(仮称)清陵会館の建設と校舎周辺整備の事業を担当、三沢文庫委員会は、三沢文庫の移転改築加も当然あり得ることと思われまます。

校舎改築記念事業同窓会実行委員会役員(敬称略)

顧問 小田切光威(学校長)、大森栄(相談役)、金子田六(清陵会理事長)、清陵高校P.T.A会長、小口楨三、石井睦蔵。

〔総務委員会〕
▽委員長 井上彦次▽同副 矢島子郎、勝山甲一。

〔募金委員会(募金小委員会)〕
▽委員長 小菅重男 常任副委員長 土橋仁、山岸淳、柳沢英次、田中吉泰、伊東敬一郎、溝口勉、稲垣益次、有賀裕、山崎壮一、下村幹夫、河西勇、井出五郎、鈴木武彦、笠原忠夫、中島伸一(以上学年代表) 藤森吉三、宮坂久臣、丸茂忠司、岩波誠司、伊藤勲、日達進、赤坂良雄、保延醇一

〔施設委員会〕
▽委員長 藤森秀雄▽同副 小泉憲市、関正和、小口達雄、菊池貞衛。

〔三沢文庫委員会〕
▽委員長 金子恭之▽同副 野明金一郎、宮坂和宏

紙面の都合で、募金副委員長、各委員会委員等の役員の方々の芳名が掲載できませんでしたが、お詫び申し上げます。

(同窓会本部)

清陵八十年史(960ページ)

諏訪中、清陵高八十五年の歴史を克明に登載した限定出版 豪華版!!

残部わずかに 二百部

実費 五、〇〇〇円 (送料込み)

もう二度とこんな出版は出ません。早いもの勝ち!

諏訪市清水一の一〇の一 諏訪清陵高校同窓会 事務局へ

TEL (0266) 58-0356

季節料理

シャブシャブ料理

天ぷら 割烹 仙岳

湖明館通り ☎(0266)58-3515 (駐車場完備)

校舎改築記念事業の概要と募金目標額について

昨年十二月八日、母校小して切瑳琢磨の場となり、講堂で開かれた同窓会幹事会において、母校校舎の画期的な全面改築を記念し、同窓会として次の六つの事業を行うこと、ならびに、これらの事業に要する経費は、同窓生各位と地域事業所を対象とする募金によることとし、募金目標額を、総額一億四千万円とする。これが、万場一致で決議されました。

一、清陵会館(仮称)(同窓会事務局・資料室を含む)を建設し、県に寄付する。

同窓会が、母校創立三十周年を記念して、清水ヶ丘の寄宿舍跡地に記念館を建設したのは、昭和二年のことでありました。爾来、記念館は、同窓会のみならず、学友会・地方会クラス会等の集いに利用され、校風の

なお会館は、県有地内に建設する施設として、竣工後、県に寄付することになります。現在、その規模・構造・内容・建設地等について県と協議中であり、関係上、二階建て、床面積約五、〇〇〇平方メートル、建設費総額(什器備品を含む)約五、〇〇〇万円を予定しています。

二、新校舎完成後の周辺整備の援助。

今回の全面改築の構想は、すでに会報第十号でご報告したとおり、規模・外観・内容ともに画期的なものであり、校地拡張等に伴う造成工事によって、清水ヶ丘の景観は一変しようとしていました。

この例にならない、新たに現代的な装いを凝らして変貌する清水ヶ丘の母校に、同窓会は、また新しいモニュメントを残して母校と心をつなぐことを計画し検討をはじめました。

母校に学んだ青春の日々を記憶の中に、忘れ難いのは、春夏秋冬、清水ヶ丘を彩った、母校の歴史とともに

舎の落成を祝って、第十七回生が中心となり、これに同窓会も協賛して、後に芸術院会員となった清水多嘉示氏(第十七回生)制作のブロンズ像を母校に贈りました。

校歌「ああ信山の健児ら、やがて咲くべき春や何時」の心をテーマに制作された、このブロンズ像は、「黎明」と名づけられ、正面玄関前に据えられて、朝夕登下校する生徒たちに、語りかけ問ひかけて、旧制諏訪中学の木造校舎を懐かしむ同窓生の心を母校につなぐモニュメントとして親しまれてきました。

これらの周辺整備の援助に要する経費として、一、五〇〇万円を計上いたしました。

三、財団法人諏訪清陵会の基金の拡充。

創立八十周年を機に、同窓会は、母校の教育活動を支援するとともに、ひろく地域の学術・文化の振興に寄与する目的をもって、財団法人諏訪清陵会を設立、募金の一部一、五〇〇万円を寄付し、三沢文庫の基金二〇〇万円と合せて、一、

七〇〇万円の基金の果実をもつて運営して参りました。その目的とする事業は、育英・高校教育の振興、三沢文庫の運営、学術・文化に関する講演会等の催し等であり、基金が僅かなため、残念ながら公益法人としての面目を十分果すには至っておりません。

一方、今回の全面改築によって、母校の体育関係施設は画期的な拡充がはかられます。復活した硬式野球部をはじめとして、運動系各部の、最近の活発な活動ぶりを思う時、今後の飛躍は期して待つべきものがあります。

同窓会の母校教育活動に對する恒常的な支援は、この財団をパイプとして行うこととされており、併せて公益法人として地域の教育・学術・文化の振興に寄与するために、基金の拡充が急務となっております。

今回、特に母校からの強い要請を受け、記念事業の一つの柱として、この財団

の基金拡充を計画しました。承されました。入学時に入会金とともに、基金造成の目標額は、二、五〇〇万円であり、終身会費一万円を納入するに要する経費一、〇〇〇万円と合せて、総額一億四〇〇〇万円となります。

昭和五十九年度の会報十号が同窓生各位に郵送配布されていますが、その部数は、約一万一、〇〇〇部となっています。現在、新しい同窓会名簿を作成中であります。現在所在不明の会員の確認が進めば、掌握可能な会員数は、優に一万四〇〇〇名を超えるものと思われ、

総会開催の時期を確定したいと思っております。

募金目標額は、募金活動に要する経費一、〇〇〇万円と合せて、総額一億四〇〇〇万円となります。

昭和五十九年度の会報十号が同窓生各位に郵送配布されていますが、その部数は、約一万一、〇〇〇部となっています。現在、新しい同窓会名簿を作成中であります。現在所在不明の会員の確認が進めば、掌握可能な会員数は、優に一万四〇〇〇名を超えるものと思われ、

同窓会が完了して、落成式典・記念総会の挙行、終わる間もなく母校創立一〇〇周年を迎えることになりました。

六、校舎全面改築落成記念総会の開催

校舎の全面改築の完了は、早くして昭和六十四年秋が予想されます。今後、工事の進捗状況を見ながら、記念

の基金造成の目標額は、二、五〇〇万円であり、終身会費一万円を納入するに要する経費一、〇〇〇万円と合せて、総額一億四〇〇〇万円となります。

昭和五十九年度の会報十号が同窓生各位に郵送配布されていますが、その部数は、約一万一、〇〇〇部となっています。現在、新しい同窓会名簿を作成中であります。現在所在不明の会員の確認が進めば、掌握可能な会員数は、優に一万四〇〇〇名を超えるものと思われ、

の基金拡充を計画しました。承されました。入学時に入会金とともに、基金造成の目標額は、二、五〇〇万円であり、終身会費一万円を納入するに要する経費一、〇〇〇万円と合せて、総額一億四〇〇〇万円となります。

昭和五十九年度の会報十号が同窓生各位に郵送配布されていますが、その部数は、約一万一、〇〇〇部となっています。現在、新しい同窓会名簿を作成中であります。現在所在不明の会員の確認が進めば、掌握可能な会員数は、優に一万四〇〇〇名を超えるものと思われ、

同窓会が完了して、落成式典・記念総会の挙行、終わる間もなく母校創立一〇〇周年を迎えることになりました。

六、校舎全面改築落成記念総会の開催

校舎の全面改築の完了は、早くして昭和六十四年秋が予想されます。今後、工事の進捗状況を見ながら、記念

信州・蓼科 溪流のリゾート
政府登録国際観光旅館
蓼科 グランドホテル
〒391-03 長野県茅野市蓼科温泉 ☎0266(67)2525

蓼科の新しい彩風……
あなたから、あのひとへ。

■施設のごあんない

- 客室151室・収容800名様
- 純和室(※鹿山荘・※白雲荘・※青山荘・※溪間荘)、洋室(※ヴィラ山翠)
- ※庭園大浴場「巖の湯」・「湧泉」・「曲玉風呂」・※「竹庭風呂」
- コンベンションホール ※「辛夷」(和・洋600名収容)、「パレスサンシャイン」(500名収容)
- ※大宴会場「瑞鳳」(300名収容) ●※料亭「御堂小路」13室
- 会議室「楓」(200名収容) ●※結婚式場(芙蓉)
- ※カフェテリア「アカシア」 ●※薔薇絵巻倶楽部「ムーンライト」
- 大駐車場(大型バス20台収容) ●第一級防災設備完備
- 二次会処「信濃茶屋」、コーヒーショップ、ゲームコーナー、マージャン室、ショッピングコーナー「やまびこ」●※ガーデンプール、テニスコート

代表取締役 柳 澤 英 次 (45回)
常務取締役 柳 澤 洋 介 (73回)
レストラン 小 松 敏 (49回)
営業主任 小 池 廣 和 (73回)

蓼科 グランドホテルチェーン
蓼科 政府登録 蓼科 グランドホテル 別館 ☎(0266)67-2700
レストラン 小 松 敏 ☎(0266)53-6300
務ヶ峰

東京店 日本料理 割烹 又平
〒160 新宿区西新宿1-12-7 ☎348-4080

●東京営業所 ☎(03)348-1515 ●大阪営業所 ☎(06)264-5560 ●名古屋案内所 ☎(052)562-0226

営業品目
時計・宝飾・メガネ・ギフト・レコード

株式会社
ヤマザキ

諏訪市諏訪1-3-11 ☎(0266)52-5200(代)

代表取締役 山 崎 壯 一 (51回)
営業部長 原 英 充 (65回)
総務次長 岩 波 秀 成 (66回)
山 崎 敏 廣 (74回)
山 崎 俊 一 (80回)

東洋のスイス 諏訪湖畔で精密加工技術に生きる

株式会社 **ダイヤ精機製作所**

本社工場 岡谷市小井川17978 ☎(0266)27-7733
営業所 東京都杉並区上井草4-9-12 ☎(03)399-0685

コンピュータ 端末機器
精密計測器
省力機械

代表取締役 小 口 成 人 (44回)
常務取締役 高 波 勝 郎 (44回)
取締役 小 口 禎 三 (36回)
監査役 植 野 忠 道 (41回)

いと電話があった。早速、地元の同級生有志が集まりこの話を具体化し、諏訪地方に住む同級生四九人全員が協力し映画鑑賞を催したものである。

主催は清陵二十七年卒業同期会および岩波映画で、諏訪地方の教育委員会、清陵同窓会が後援となったが八百人を超える観賞者をつめ大成功であった。映画観賞に先立ち、同期会を代表して平出公仁君の挨拶があり、諏訪淳君の高校時代のこと、その人柄など紹介された。ついで、諏訪君が映画「薩摩僧侶琵琶」製作のねらい、その内面的世界などをわかり易く講演され

年譜に欠けた部分

三沢先生の場合

賀筵も供養も数え年で行くのが古からの慣習である。今年はず木と潤一郎の再発で、目玉されたのは、その白秋・野上弥生・武者小路らだった。昭和二年、文人ばかりだが、総じて、生誕・没後の記念行事の対象になるのは、芸術細の人が多い、学者の数が少ない。野上さんは満百日に決め、会場を先生とゆかりの深い諏訪市内に選んだ。先頃他界した。三沢先生も明治十八年(一八八五)のお生まれだから、昨年がご生誕百年である。野上さんの研究発表と特別講演

二日目が諏訪湖周辺の実地研究にあてられた。講演は「三沢先生と地理学」と題し、講師には先生の薫陶を受けた、元日本地理学会会長の矢沢大博士(32歳)が招聘された。講演の冒頭で矢沢氏は「日本地理学会が個人の生誕を記念して例会を開いたことは、かつて一度もなかった」と述べられたが、ひとり地理学会だけでなく、おそらく他分野の諸学会においても、稀有な事例かと思われる。しかも先生が、栄光を背負って活躍する中央の学者でなく、地方にあって地道に研鑽を積んでいた学者である点に想いをいたすと、いかにその学説が特異な創見とシャープな洞察に貫かれて、長い生命を学界に寄与し続けていたか気づかされる。



つある文化遺産が数多くあり、諏訪君がこの方面にも(52・55期幹事 三井光)は是非メスを入れてほしいと

「日本地理学会」では、先生の生誕百年を記念して一九八四年度地方例会を十一月二十四日・五日の両日に決め、会場を先生とゆかりの深い諏訪市内に選んだ。学会の一日目は、先生の学問の展開につながる会員の研究発表と特別講演

れ、続いて『三沢先生記念文庫』が校地内に建った。さらにその翌年雑誌「信濃教育」(九五五号)が、特集『三沢勝衛先生』をくんだ。没後四二年(昭五四)には『三沢勝衛著作集』(みす、書房)三巻の刊行をみ翌年、『三沢勝衛先生地理研究資料目録』(同窓会)が編まれた。没後四五年(昭五七)は、雑誌「社会科学教育」七月号(明治図書)に『社会事象教授化の論理歴史の検討——三沢勝衛氏の場合』が載る。執筆は兵庫教育大学助教授岩田一彦氏である。

トルは「三沢勝衛の景観思想の内容と方法」であった。人間としての、教育者としての三沢先生については、前記した三沢先生生誕百年の記念学会が開かれたわけである。『三沢勝衛先生』は地理学に疎いながらも、先生の学問を理解することにはできない。日進月歩を続ける学問研究の世にあって、先生の学問が没後半世紀を経ても、なお斯界に確たる位置を占めている事実には、感動と畏敬の念を抱かざるをえない。先生が諏訪中学に赴任されたのは大正九年で、逝去は昭和十二年であるから、十七年にわたる諏訪の生活は、その生涯の三分の一に相当する。先生が溢れる泉のような筆勢で、論文を書き始めたのは大正十一年からだから、地理学者と地理思想研究グループ第一の九回例会で「景観地理思想の我が国地理教育への導入過程の研究」を発表する。同研究発表のメイン・タイ

ご宿泊ご宴会に是非ご利用ください。

結婚式場、和洋大宴会場、美容室、写真室、衣裳部、七階展望温泉浴場、駐車場完備の都市型ホテル。

ティーラウンジ絵里奈も合わせてご利用下さい。

上諏訪温泉・国際観光旅館・日観連会員

諏訪シティホテル 成田屋

松沢一夫(40回) 諏訪市大手並木通り ☎(0266)52-4500(代)

新しい時代が始まっている

常に技術の限界に挑戦する

日東光学株式会社

本社・工場 諏訪市湖南4529 / 上諏訪工場 / 東京営業所

諏訪湖一周マラソン

記念メダルを母校に寄贈

湖周マラソンOB参加十 念の銅メダルを学校・同窓 周年記念として、井上彦次 会に寄贈。学校では、メダ (42回)氏が中心になり、記 ルと趣意書をパネルに入れ

展示した。



諏訪湖一周マラソンの レモンと山本賞

小林 俊光 (57回生)

瀕死の戦傷から牛山正雄 メダルの表は、BC四九 先生を甦らせたレモン。後 ○年マラソンからアテネへ 年、先生は諏訪湖一周マラ 走り戦勝を告げた伝令、フ ソン最大の難所で、レモン エイデピデスの横顔をアル の輪切りを一人一人に手渡 カイック様式で高浮彫にし されながら激励して下さっ た。裏は、諏訪湖を真中に た。先生没後、そこに「う おき、諏中・清陵の校章を しまさ坂」の碑を建て道し 両脇に添え、第一回諏訪湖 るべとし、いま、レモン配 一周マラソンのスタートに りはOBの仕事として引継 際しての山本先生の訓辞 がれている。

諏訪湖一周マラソンは山 遅速のごとき問うところに 本喜市先生により大正四年 あらず」と、矢島子郎先生 に創設され、以来数多くの に揮毫していただき、その 書を書き周りに配した。直径六 人達の汗と努力によって受 〇mm、厚さ六mm、重さ二四 継がれ、昭和四九年にはO 四・五g、純銀製。

山本喜市先生 体操教師。明治三七年一 大正八年在職。大正四年諏 訪湖一周マラソン創設、「自 重して必ず一周すべし。遅 速の如き問う所にあらず。 中途中止の如き不用意の事 あるべからず」と。

山本藤吉先生(20回生) 体操教師。喜市先生長男。 昭和十六年在職。諏中在学 中二回湖周マラソン優勝。 が完成した。

大正四(一九一五年)十二月四日、当時の体操教師山 本喜市先生の熱心な提唱により、第一回諏訪湖一周マ ラソンが行われた。山本先生は出発にあたって次の ような注意を与え、「自重して必ず一周すべし。人 に依りて体力に差あり。遅速の如き問う所にあらず。 中途中止の如き不用意のことあるべからず」と。 以来七十年、このマラソンは幾多の困難を越えて受 け継がれ、運動一統化とともに本校の大きな伝統とな った。持てる力を出しきって走った青春のドラマは、本 校に学んだ誰の誰にも、強い思い出となって焼き付い ている。その青春の日を懐かしめ、昭和四十九年から 同窓生も参加して十年を経、これを記念して、有志に よって山本賞が設立された。

昭和五十九年十月

「モスクワ通信」

残暑御見舞申しあげます。二一七五、外信部デス 皆様、新しい校舎、運動 ク、海外ウィークリー、N 場の整備に向けて御苦労を HK特集のキャスターなど お重ねのことと存じます。 さて私、昭和三四年卒業 の間に母校でお話できた のは何よりの幸せでした。 NHKモスクワ支局長に転 出することになりました。 モスクワは何と云っても モスクワ支局は、一九七 〇—七二年に次いで二度 に課せられた仕事も、また 目、その後ウィーン支局(七

州男子のネバリで良い成果 をあげてまいりたいと思っ ます。 母校のますますの発展を 祈っております。同窓生の 皆様、モスクワにおいで の折には、ちよつと御連絡い ただきたいと思つていま 行者では味わえないソビ エトを御案内したく思いま す。 昭和五十九年八月 小林和男

ものがあると存じます。

新同窓会名簿の発行についてお願い

日頃同窓会名簿について 御関心をお寄せいただき感 謝申し上げます。

この度の発行に当りより 正確さを期するため、同窓 生諸兄御自身、並びに学友 の情報等を同封のがきで レポートされるようお願い 申し上げます。

この度の創立九十周年記 念事業として、昭和六十一年入学生まで網羅した新同窓会名簿(同窓生二万九、〇〇〇名)を発行することになりまし。同窓生の動向、活躍等についてこの名簿により得るところ多大な

この度の発行に当りより

この度の創立九十周年記

念事業として、昭和六十一年入学生まで網羅した新同窓会名簿(同窓生二万九、〇〇〇名)を発行することになりまし。同窓生の動向、活躍等についてこの名簿により得るところ多大な

この度の創立九十周年記

念事業として、昭和六十一年入学生まで網羅した新同窓会名簿(同窓生二万九、〇〇〇名)を発行することになりまし。同窓生の動向、活躍等についてこの名簿により得るところ多大な

この度の創立九十周年記

念事業として、昭和六十一年入学生まで網羅した新同窓会名簿(同窓生二万九、〇〇〇名)を発行することになりまし。同窓生の動向、活躍等についてこの名簿により得るところ多大な

この度の創立九十周年記

念事業として、昭和六十一年入学生まで網羅した新同窓会名簿(同窓生二万九、〇〇〇名)を発行することになりまし。同窓生の動向、活躍等についてこの名簿により得るところ多大な

この度の創立九十周年記

念事業として、昭和六十一年入学生まで網羅した新同窓会名簿(同窓生二万九、〇〇〇名)を発行することになりまし。同窓生の動向、活躍等についてこの名簿により得るところ多大な

この度の創立九十周年記

念事業として、昭和六十一年入学生まで網羅した新同窓会名簿(同窓生二万九、〇〇〇名)を発行することになりまし。同窓生の動向、活躍等についてこの名簿により得るところ多大な

- 一、名簿に関する問合せ先
 - 郵便番号 三九一
 - 茅野市塚原二二一
 - 代表者 桑沢 和夫
 - 名簿係 小尾 球男
- 二、新名簿発行予定
 - (イ) 調査、再確認期間 昭和六十年十二月末まで
 - (ロ) 印刷発行日 昭和六十一年五月
 - (ハ) 予定価格 金参千円(含送料)

胃腸科 花岡医院

花岡 弘 (49回)

諏訪市諏訪2丁目1-11

TEL 0266 (58) 3277

諏訪湖一周マラソン 不二屋もなみ

長野県下諏訪町大社通四ツ角 有限 不二屋 電話(27) 八五〇五

“みすずかる信濃の国の香をこめて 食卓にそえる真心の味”

浅漬・漬物・佃煮の御用命は

株式会社マルモ高木

代表取締役 高木 常雄 (33回)

本社・工場 ☎394 岡谷市今井1870

☎0266-22-2619 (代表)

配送センター ☎394 岡谷市赤羽3-7658-1

☎0266-23-0200 (代表)

長野営業所 ☎380 長野市東和田南沖784-3

☎0262-44-2720 (代表)



電磁波公害(EMI)防止に盡くす

株式会社 電研精機研究所

〒203 東京都東久留米市八幡町1-4-21 ☎ 0424-73-3745(代)

FAX 0424-74-0613

代表取締役 矢ヶ崎昭彦 (47回)

支部だより

東海支部

東海支部の総会は、ここ 社へ戻られる方が多く当地 数年開いておりません。と 区に永住する人が少ないと 申しますのは、世話役をお 云うことです。所謂、出入 願ひしていました、山田一 次さん(42)の横浜への転勤、 又その後の世話役の小松久 思われます。五十二年度名 夫さん(69)が浜松に転勤、役 員は今井邦夫さん(47)も下 訪へ帰郷があいつぎました。 あると思います。又名簿が 併しこの儘では支部会員の ら見ますと昭和二十五年教 皆様に申訳ありませんので、 育制度の改革前までは名古屋 此の三月に吉江佐太郎支部 長(33)、奥山清さん(32)、錦見 高弘さん(42)、竹村弘(44)の四 人が木曾路で会合し、一、 名簿の整理。二、名簿作成 後秋頃総会の開催、と以上 の事を取決めました。

東京支部

神宮外苑の樹木が色づき はじめた昭和五十九年一月 二十二日、東京は青山の日 本青年館で、諏中、清陵東 京支部総会が、四十八回生 担当で開かれた。諏訪から も、山田会長、小田切校 長、石井副会長、北原事 務長など出席いただき、全 参会者一九三名の多きを数 え諏中、清陵OBの意気盛 んなところを示す。実に盛 会であった。

上伊那支部

の鏡割りに続き、二二回生 井内勇氏の音頭で乾杯を行 い、懇親会に入る。

同期を中心にスタンバイ したテールは再会をよろこ びあう笑顔に溢れ質実剛 健、自治勤勉努力で結ばれ た絆を確かめあう語り草で いっぱい、その間を縫って、 二八回生山岡利平氏、五二 回生林尚孝氏により母校の 思い出マラソン大会のエビ



面に比し塩尻駅での乗り換 えが億劫だったのでしょうか。 併し今や中央高速道路が ありまじ、距離も時間も 全く同じになりました。立 派な大学も沢山出来ました。 且つ、総合大学の名大の学 長は飯島宗一さん(41)です。 又進学のみならず、これか らは諏訪と中京地区は経済 的その他色々密接な関係 になって行く事と思います。 歴史的に見ても織田信長 (竹村 弘記)

が甲斐の武田軍を打ち破り、 天正十年三月二十八日にそ の論功行賞を中洲神宮寺の 法華寺で行い、二カ月後の 六月二日に明智光秀により 本能寺に滅び日本の歴史を 変えた事は余りにも有名で す。原因をつくった場所が 諏訪だったのです。

後輩の皆さんの当地区へ の進出を歓迎するものです。

お味噌は 歳月と自然の贈りもの 故里の味をおとどけする

ひかり味噌株式会社

☎ (0266) 27-8848

取締役社長	林 保晴	本社工場	長野県諏訪郡下諏訪町4848の1
専務取締役	(58回) 林 善八郎	飯島グリーン工場	長野県上伊那郡飯島町大字田切字川原1145の8
専務取締役	(64回) 林 博優	東京営業所	東京都日野市東豊田4の25の7

郷里に錦を飾る 湖の湯 ふるさとに集う

TEL. (26) 550-3377

全室諏訪湖が眺望できる12階建和風旅館

クラス会・同窓会 励ます会・壮行会 創立記念パーティ 出版記念パーティ ゴルフコンペ 各種謝恩パーティなど ご利用いただけます

政府登録国際観光旅館 株式会社 湖の湯 取締役社長 山崎 壮一 (51回) 〒3192 諏訪市湖岸通り333-10 ☎ 0266-550000 取締 後山崎 澤子 (56回)

感謝のうちに終了。本会から過ぎるのも忘れていたが、例により校歌に上伊那学生は小田切校長先生、同窓会 団歌の盛り上りは、老いも若きをも忘れさせるものがある。木下先生の臨席と祝辞を頂き又遠く東京より上あり高遠地区からも集まる伊那学生団東京支部長吉沢 名にふくれ上がった。日本利雄君もはせさんせられ、そばの出張こんだては皆さ夫々に光彩を添えて頂いた。そげの出張こんだては皆さ議事の要望書に関する件も、んから大変に喜ばれた。力強い会員の意見もあり満場の賛成を得て成立。懇親会に入り、大いに歓談の時

(上伊那支部長 赤羽 貞雄)

富士見支部

元老と若者が集まる富士見支部の総会を去る二月十三日に行いました。現代は殆どの方が勤めなので、昨年三月の総会が集まりが今一步でしたので、今年は合いグループのスナップ写二月に計画してみました。富士見支部の総勢一六〇人から見ると思ふように集まりませんでしたが、でも代々の支部長全員と、会場近くの元老の方々も参加して下さって、グループはおのずから年齢毎に分れ、中々盛大に出来るか毎年話し々盛会でした。学校側から



閉会前の校歌の合唱は絆を強くする上に又大きな力となつていふに思われ

(富士見支部長 坂本 積記)

岡谷支部

本年度岡谷支部総会は、四月六日(土)午後六時より信濃屋に於て、山田同窓会長石井副会長、母校より小田切校長先生、木下先生をお迎えし、会員は二〇回生より七九回生迄総勢二四

終わつたばかりで、年度初めの御多忙の中、御臨席を頂いた事に深く感謝申し上げます。何時も、岡谷支部同窓会が活発なのは、先輩諸兄の築いた伝統と役員を初め、会員各位の熱情、加えて事務局が会場の作成その他方面に渡り配慮された賜で有ると喜びを共にしました。

母校清陵高校は、昔変わらず名門校として益々の発展を称え、折りしも校舎新築工事の進行と共に同窓会活動も一層、活発になり既に募金目標額も決定したので、岡谷支部も学年委員共々、協力を要請いたしました。続いて議事に入り、第一号議案事業報告、会計報告、何れも、承認されました。第二号議案は、役員改選が議題に上程されました。支部長を初め、役員も任務が長いので改選を切望しましたが、母校新築工事進行中募金問題も有り、今回の改選は、適当でなく留

七回生迄五十年にわたる会員の参会を得て盛大に開催されました。今年度から前責券制度を取り入れた効果も現れ、前年の最若年の五九回生より十八年若くは年代の参加が得られた事は大変嬉しい事でした。

小口剛幹事長司会のもと、まず鎮魂曲の流れる中本年度物故された七名の方はじめ亡き会員の御冥福を全員で御祈り申し上げました。岩波誠司副支部長の開会の詞、大和武美支部長挨拶に続き、山田会長さんから校舎新築に伴う記念事業の要望、又小田切校長先生、木下先生から、御祝辞、母校の学務報告、新築の現況報告を頂き、会員一同今後の募金に対する認識を新たに致しました。記念事業が成功し、立派な会館が建立される事を祈つてやみません。続いて酒井敏夫会計よりの事業報告、会計報告が承認され、新村良雄副支部長、



下諏訪支部総会が開催されました。御多忙の中本部長、五十余名、二六回生から七

下諏訪支部

出正健前支部長の乾杯の音頭で懇親会に入りました。酒、ビール、の他今年から焼酎も仲間入りして、先は焼酎も仲間入りして、先輩後輩文字通り膝を交え年らの懐旧談や未来に対する心の絆を深く感じました。所信や、久しぶりの再会の喜びやら、しばし時の経つのも忘れる一夜の宴となりました。校歌の音頭とりの時半に解散致しました。プロとも云える前幹事長欠席の為、滝沢潔(四六回)君が一番の指揮をとり、二番の指揮は、石井副会長、井上総務等の来賓の飛入り開始に於て最若年の横川英男君(七七回)に至る迄入替り立ち替りの指揮も、との大合唱は、全く感激で

(下諏訪支部長 大和武美記)

昭和六十年二月二日(土)の有志者十八名の参加を得て開催、総会の日程の細部について着詰める。目玉の小口達雄副支部長の御努力御熱意により、同窓の第三八回生諏訪彰先生の「地

諏訪支部

この場に会する者支部役員、地区役員及び学年幹事

予知こぼれ話」と題してお話を聞く事を決定す。

この日も例によって母校の諏訪支部総会を来賓各位の御出席を特別に北原事務長の御出席を得て詳細について聞き、又校舎改築記念事業実施計画（特に募金計画について）の説明を受け、又創立九十周年記念総会について四九回生代表に依頼、又諏訪支部運営方針について協議し後懇親会に移る。毎年役員会を拡大して今回は学年幹事の有志にまで呼びかけたのは、一昨年より前兆券制度を導入して、広く会員の参加を呼びかけていく為、人手が必要となり、会の隆昌にも関係がありますので大変役員や呼びかけられた方々に御迷惑ではありますが、この方法以上に良い方法が見つかからない現状では、今後もこの方法を採用せざるを得ないので会員の皆様の御看しと御了承を御願ひし、奮って御参加を御願ひします次第であります。



五時より諏訪観光ホテルに於て昭和五十九年事業年度の諏訪支部総会を来賓各位を始め会員約一〇〇名の参加を得て盛大に開催致しました。古きは二六回生の御子柴清様から新しきは七七回生の伊藤茂樹さん迄の年齢の差はあるとも、希望に満ちた青春の日に感動と感激の若き魂の時代に、同じ校門を潜り、同じ校風を身に食った者同士として、彼の大書してある。省みて直くんば千万人と雖も我征かんの旗印のもと、一脈相通する血が脈々として身体の中を音を立てて流れている者同志として、ここに一堂に会して同窓の友輩が一時の団欒を持ち、懐しい思い出の日々を語り、又或る時は明るい希望に満ちた将来の展望を談ずるも大いに意義があります。

今日のふれあい、めぐりあいこそ、私共の人生のページに生きがい発見の為の大きな糧になると信じます。只一つ残念な事は若い人の出席が少ない事、又女性同窓生の出席が皆無である事です。思えば我々古き年代の者が果たして清陵同窓生の中に女性を発見するなんて嘗て想像し得た人

学年だより

近況報告

昭和五十九年十一月初冬の岡谷市ホテル岡谷にて、昭和三年の入学同級生による同窓会を開催。

会員通知状発送 八十余



古稀を祝う

第33回生昭二会かくしやく

文集発行と総会開催

旧制諏訪中学第三三回生昭二会は、昭和五十九年度に会員の大部分が古稀を迎えた。そこで、それを記念して文集第三集「ああ博浪の槌とりて(古稀編)」を刊行し、さらに文集刊行の勞

会員は、東京はもろろん関西からも元気な顔を見せた。最初に、前回昭和五十七年の総会以降の物故者七名を加えた、昭二会会員物故者八四名の法要を、会員である桑沢有豊師執行のもとにとり行ない、そのあと、記念講話としてやはり会員である平山正健医学博士から「老後の健康管理」というお話を聞いた。



上伊那学生団

四十二期生会

そのあとはひざをくずし、楽しいムードの中に、来し方を偲び、今を語り、未来への願望から現在の政治経済に至るさまざまな語らいが続けられ、最後は柳田景也君の指揮により校歌を斉唱し、尽きぬ名残りを惜しみながら次回を期して散会となる。

(笠原新作記)

話題の中で七十歳を過ぎて今何を回想するかの問題が多く各人の一層の御自愛を祈る。次回は諏訪に決定御柱祭も近くなる。

法要では出席者全員が焼香をして故人を偲び、記念講話では特に老後でいちはん気をつけなければいけない「動脈硬化」について、専門的立場から病状や予防法等について詳細にお話をし頂き、いずれも身近な問題であるので、皆うなずきながら真剣にきいた。

会場を別室に移しての懇親会は、冒頭でいつものように全員の近況報告をきく。悠々自適の生活を送るもの、まだかくしやくとして第一線で活躍するもの、老人体育で体力作りにはげむ者等さまざま生き方が紹介され、昭十六年三月、時あたかも大東亜戦争開戦際、晴れて業を畢へ、あこがれるべきや。此処に於いて一同集い、

神州一味噌

しんしゅういち

神州-みさをよるしく



清酒真澄 醸造元 宮坂醸造株式会社

常に先端技術で無限の可能性を追求



営業品目
腕時計部品製造・精密ロボットエンジニアリング
電子部品・計測機器・精密金型治工具設計製作

株式会社 ミスズ工業

本社工場：諏訪市四賀神戸 3090 番地
TEL (0266) 5 2-6611
FAX (0266) 5 8-8810

箕輪工場：上伊那郡箕輪町中箕輪 1536 番地
TEL (0265) 7 9-8866
FAX (0265) 7 9-8877

代表取締役会長 山崎 壮一 (51回)
代表取締役社長 山崎 晃 (64回)
取締役総務部長 小松 史明 (47回)
他 OB 30名

且は故人を偲び、且は同志の友誼を厚くせんが為、杯を挙げて一夕の款を尽くすの故なしとせず。

斯くて有志相語り、独断と偏見により、左記により、する上諏訪の町の賑やかさ大いに盛衰を張らんとするにどきまきし、汽車通学のものなり。

庶幾はくは諸公、本旨を諒とされ、光来あり、錦上更に花を副えられん事を乞う。賛せよ。

記
昭和中甲子九月一四日午後六時
場所 熱海 片倉工業株
保養所

当日出席者十名。長旅やら当日のゴルフコンペの汗を流し、定刻六時に宴会に入った。

今はときめくニューセラミックの旗手某大手会社の常務殿も、時には管長代行を相勤め、兵隊の位にするか？ 将を自任する名利の方丈殿も、曾つては鬼より恐い学友会副会長今や某大手生保会社医務部の大目付マンに想いを馳せ、初孫の医博殿も、諏中入学順位シ

のゴルフの言訳け、反省あつた。最近とみに衰えの目立つあちらの方の愚痴が出るやら話題は頼に尽きず、度々の「幹事！酒追加！」の催促と共に宴は何時果てるやも知れず、百花撩乱花吹雪の活況。

残念ながら保養所の規則もあり、名残惜しくも、校歌、国歌の高唱を最後に、再会を約し、お開きとしたが、シルバークイーン初頭の名であった。

さて、定刻六時、大阪より出席した馬場（小口）治久君の首頭で一回杯を上げた。先ず小口真東京不惑会会長の開会の辞に始まり、増沢謙太郎東京支部長が所

近況のやりとり、学校時代の恩師、旧友の思い出、軍隊の苦勞話に始まり、お国自慢の伊那節、小学校唱歌、純情二重奏、愛染かつらの高唱あり、最近何故か急に強くなった母校野球部に驚歎し、万葉、飛鳥のロマンに想いを馳せ、初孫の自慢話に目尻を下げ、今日

代の恩師、旧友の思い出、軍隊の苦勞話に始まり、お国自慢の伊那節、小学校唱歌、純情二重奏、愛染かつらの高唱あり、最近何故か急に強くなった母校野球部に驚歎し、万葉、飛鳥のロマンに想いを馳せ、初孫の自慢話に目尻を下げ、今日

赤羽友一、長田啓、黒河内和、藤田信州男、古橋隆之、横山栄良、吉江幹之助、吉江久明、吉沢登、山田一次。

（山田 記）



「湖畔諏訪湖インあるが」

入学五十周年を迎えて

東京不惑会春の集い

本年は、われわれ不惑会（四一）回生にとつて、諏中入学五十周年の節目にあたる。本年度の東京不惑会例会を二月二十日に、新橋の

「鷺の巣」で開催した。当日は、恩師埋橋朝賢先生と矢沢大先生が出席して下さい。同級生の出席は二八名がとりまき、真剣に私の説明をきいてくれたのは感心した」とのお話極めて印象的でした。

矢沢先生は、「現在九時起床！午前二時まで、原稿執筆をしている。昨日はたった七枚しか書けなかった」とのことでした。学究者としての在り方には敬服しました。また、「みんな貴緑がつかましたね」と私に洩らされた。

柳沢理一郎君は、「既にご案内のように、不惑会全体総会を、来る六月二十二日午後、第二回慰霊祭を地蔵寺でとり行ない、五時半より湖畔諏訪湖インあるが」

- 特約店
- 三井物産株式会社
 - 味の素株式会社
 - 旭電化工業株式会社
 - 日本製粉株式会社
 - フジ製糖株式会社
 - 雪印乳業株式会社

合名会社 川村商店

岡谷市御倉町3-6 千304
☎ (0266) 23-3000 (代)

取締役会長 川村 忠雄 (29回)
取締役社長 岩波 誠司 (47回)
専務取締役 川村 泰由 (64回)

信州の自然が育てた!!

ヤマナガみそ



あたたかさを大切に……心をこめた味噌汁いっぱいご家族の健康をお約束します。

専務取締役 矢崎清太郎 (60回)
株式会社 ヤマナガ

長野県茅野市塚原1-2-5
TEL 0266 (72) 1212(代)

横井病院

診療科目

- 一、外科
- 一、脳神経外科
- 一、整形外科
- 一、眼科

茅野市宮川三九八〇
☎ (0266) 72-2316(代)

- 院長 横井次雄
医師 横井一彦 (58回)
- 同 横井俊明
同 横井節子
薬局長 横井昌隆 (64回)

で記念総会を開催する。翌日は母校同窓会総会で、級友飯島宗一君の講演があるので参加してほしいとの報告があった。

われわれの仲間には、既に職を離れた人、転職した人、社長などで活躍している人など様々であるが、地位や身分にかかわらず、それぞれグループをつくり、時の流れも忘れて、話に花が咲いた。九時近く、先生を中心にして記念撮影、校歌合唱、来る六月の諏訪総会を約し散会となった。

最後に、いつも会場のこ

思山会総会報告

私たち四三回生は同期会、師中市政、大草英雄、守を思山会とよんでおります。屋義郎、林田不三生の四先文字どおり郷里を思い郷里を大切にの意からであり、四三回という読みにも通じさせておられます。

かねてから遺暦を記念し、開会に先だつて諏訪豊田諸準備整い昨年十月十三日、(同期生)の読経により物故者上諏訪湖泉を会場として開催しました。参加者は旧



「今回の記念として、左胸

とて野沢清志君、会の準備運営などで、新田横人・岩波良尚幹事に感謝する次第である。

（保延醇一記）

訂正
会報10号13頁「諸先達の後に続く一人として」保延記の文中、故矢島八洲夫先輩は戦後初代支部長……とあるのは、四代に、以下五代野沢隆一氏、六代森元紀美雄氏、七代小口禎三氏と、謹んで訂正いたします。

記念撮影後、最遠隔地参加者の首頭による乾杯から始まった懇親会は、各学校を回られた旧師の、他に比類なしとする諏中時代のよき思い出話や、同期生から今だからこそ話すというエピソードが出て、終始和やかな雰囲気でありました。話すほどに語るほどお互いに四十余年前の諏中生そのものにかえり、時の過ぎるを惜しみつつ校歌を合唱して散会しました。

今日わが国発展の一翼を担